

メール送信時におけるメールアドレス等の個人情報の漏えいについて

横浜市立大学において、メール送信の際に、他の受信者のメールアドレスが判別できない方式(BCC)ではなく、全員のメールアドレスを宛先(TO)に入れたことによる個人情報の漏えいがありました。

当該メールは、令和元年7月1日から実施するキャンパスの敷地内全面禁煙へのご協力のお知らせで、学内施設の一時貸付先へメール送信した際に、BCCで送信すべきところ、受信者すべてのアドレスが判別できるTOに入れて送信してしまい、81名のメールアドレス及び氏名(内数17名)が漏えいしました。

送付した方々には、即日謝罪のメールをお送りし、メールの削除を依頼するとともに、電話にて直接謝罪を行っているところです。外部への送信時におけるBCCやダブルチェックの指導徹底等を行い、再発防止に努めてまいります。

本学に関係する皆様や市民の皆様の信頼を損ねる事態となり、誠に申し訳ございませんでした。

1 メール送信先数

- (1) 送信者 81名(うちメールアドレスの宛先に氏名が表示された方17名)
- (2) 漏えいした個人情報「メールアドレス」「氏名」

2 経過

令和元年6月6日(木)

・13時14分

過去に施設一時貸付を利用された担当者等に対し、7月1日からの敷地内(金沢八景キャンパス、鶴見キャンパス、舞岡キャンパス)全面禁煙についてのお知らせと協力依頼のメールを送信。

・13時14分

送信した直後に職員自身が気づき上司へ報告。謝罪とメールの削除依頼を対象者全員にメールにて送信。

・15時25分

送付先の方に直接謝罪するため電話連絡を開始。(6月7日午前9時時点74名に連絡済み)

3 原因

外部にメールを送信する際にBCCで送信することを認識してはいたものの、失念してしまい、ダブルチェックも行っていなかったことが原因です。

4 再発防止策

個人情報保護の重要性について全職員にあらためて周知するとともに、特に、宛先を相互に知らない外部の方に一斉にメールを送信する際には、BCCで送信することと、必ずダブルチェックすることについて、注意喚起及び指導を徹底します。

お問い合わせ先

企画総務部総務課長 作山 一隆 TEL 045-787-2003